



また、先物取引は契約の時点では商品や代金を全部用意する必要はありません。

委託証拠金



ですが、価格変動による損失の担保として、所定の委託証拠金を払うことになります。

和菓子屋さん

50万円
持っています



つまり、同じ資金で現物取引をすることと、先物取引をすることを比べてみると…

現物では…



先物では…



と、いうように、先物取引は契約の時点では少ない資金でも大量な取引が可能となることから、価格変動を利用して、大きな収益をねらった取引(投機売買)が可能となります。

先物取引の特徴

- 商品の値下がり、値上がりによる損失を回避できる。
- 受渡しの期日前に反対売買することができる。
- 少ない資金で多額の取引に参加できることから、現物取引と比べて大きな利益を得ることが可能となる。
(ただし、損失も大きくなる可能性がある)



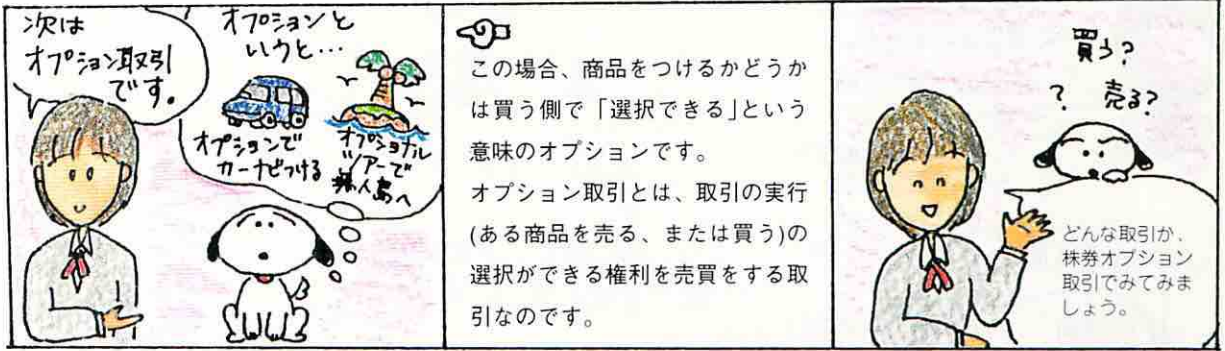
小豆の話で簡単に先物取引を説明しましたが東京証券取引所では国債と株価指数を対象とした先物取引を行っています。

先物・オプション取引室



詳しい内容については、パンフレットが各種ありますのでそちらをご覧ください。

オプション取引



●株券オプション取引～「買う権利」を買う場合の例～ ○○社の株が欲しいA子さん



もし、予想に反して株価が値下がりしたら権利を放棄してしまえばいいのです。

権利を放棄した場合はプレミアム分は損失となります。



●「売る権利」を買う場合の例

上の例と逆に、将来値下がりしそうでと思えば「売る権利」を買えばいいのです。

「売る権利」のことを **プットオプション** といいます。



将来値下がりしても、その時決めた値段で売ることができます。もちろん予想に反し、値上がりした際には、その権利を放棄すれば、損失はプレミアム分だけです。

一方、売り手はどうでしょうか？



売り手は権利の行使に応じる義務がありますので、放棄はできないんですよ。

例えば××社の株を1,000円で買うコールオプションを50円のプレミアムを受け取って売ったとすると…



買い手から権利行使をされれば、たとえ1,200円の値段がついても、1,000円で売らなければいけません。



売り手は、プレミアムが利益となります。



株価変動による売り手の損失は限りないので委託証拠金が必要となります。

●オプション取引の買い手と売り手の損益は…

| 価格 | コール | プット |
|---------|------------------------------|------------------------------|
| 上昇 ↑ | 買い手 利益 売り手 損失 | 買い手 70円 574 売り手 70円 574 |
| 下落 ↓ | 買い手 70円 574 売り手 70円 574 | 買い手 利益 売り手 損失 |



東京証券取引所では、株券、株価指数及び国債先物のオプション取引を行っています。

証券市場の歩み

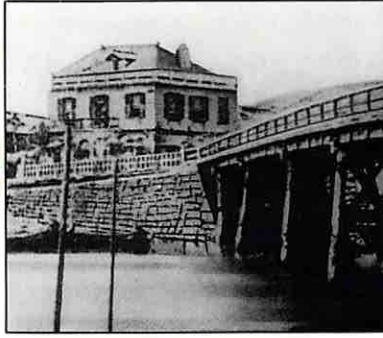
明治5年

わが国最初の国債発行



明治11年5月

東京株式取引所創立



当時は和服で取引



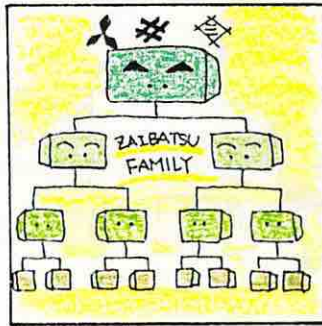
明治20年～30年代

鉄道株ブームで日本鉄道
(現在のJR)が大人気



明治～大正

財閥の形成…しかし株式は
ほとんど市場に出回らず



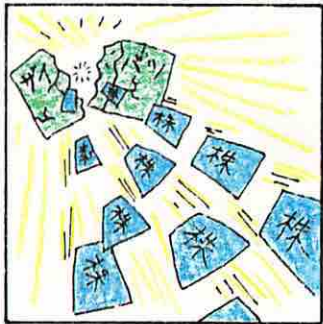
昭和初期

戦時色強まり戦時債券が
大量発行される



昭和22年

財閥解体と証券民主化運動



昭和24年5月

証券取引所での取引再開



昭和30年代

高度成長期 株式ブーム



昭和40年

証券不況、以後証券会社は免許制へ(昭43)



昭和48年

国際化時代にともない、外国株が東証に上場



昭和50年代

国債大量発行



昭和60年

デリバティブ取引始まる



昭和60年代

東証で売買のコンピュータ化が進む



昭和61年～平成元年

バブル時代の株式ブーム



21世紀

金融ビッグバンで証券市場の再生!



兜町の名前の由来は？

このあたりに平安時代の武将・源義家が戦勝祈願のために自分の兜を立て掛けたといわれる岩があり、その兜岩の由来から明治のはじめに"兜町"と名付けられました。



証券史料ホール



くわしい歴史が映像とクイズでわかります。